

平成25年台風18号災害報告 第1報



国土交通省 近畿地方整備局 河川部



きさいち

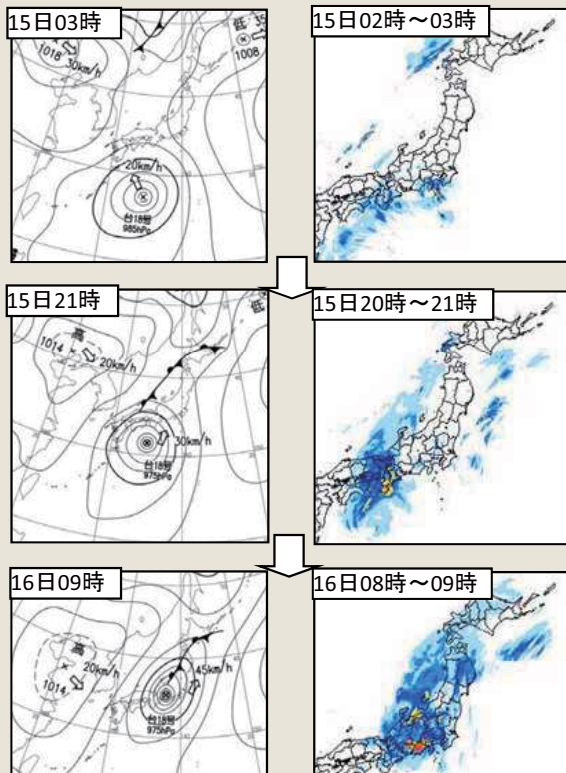
由良川(福知山市私市地区上空)(平成25年9月16日13時頃撮影)

※本資料中の数字は、速報値であり今後の精査により変更することがあります。

1. 気象概要

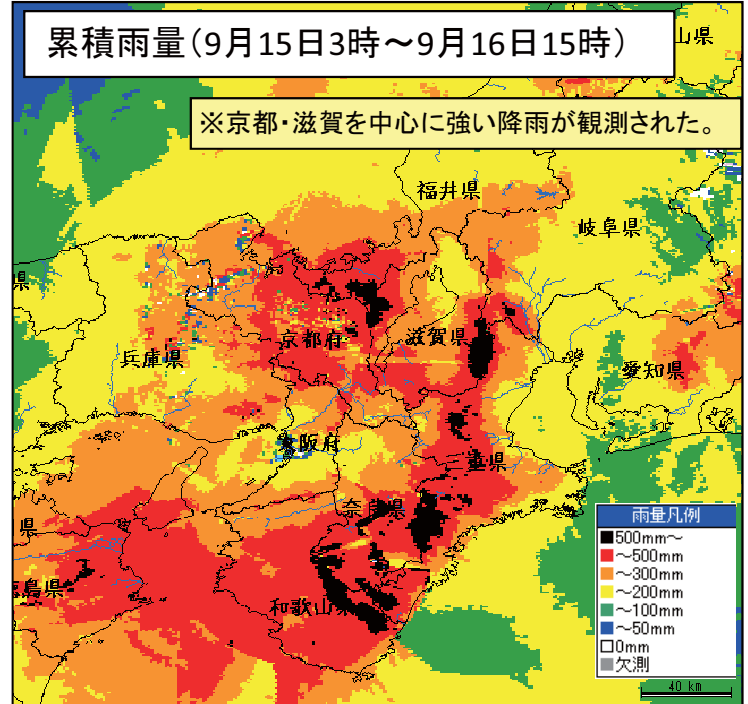
- 9月13日3時に小笠原諸島近海で発生した台風第18号は、発達しながら日本の南海上を北上し、14日9時に強風域の半径が500kmを超えて大型の台風となった。
- 近畿地方では台風の接近・通過に伴い、前線や台風周辺から流れ込む湿った空気と、動きの遅い台風本体の影響により、長時間にわたり強い降雨が続いた。
- このため、16日5時05分には京都府と滋賀県、福井県に運用開始後初めての大雨特別警報が発表された。
- 大雨特別警報が発令された3府県のアメダス観測42地点のうち、最大24時間降水量で18地点、最大48時間降水量で16地点が観測史上1位を更新した。
- この降雨により、直轄管理の10水系においては、4河川が計画高水位、5河川がはん濫危険水位、4河川が避難判断水位を超過した。

天気図・解析雨量

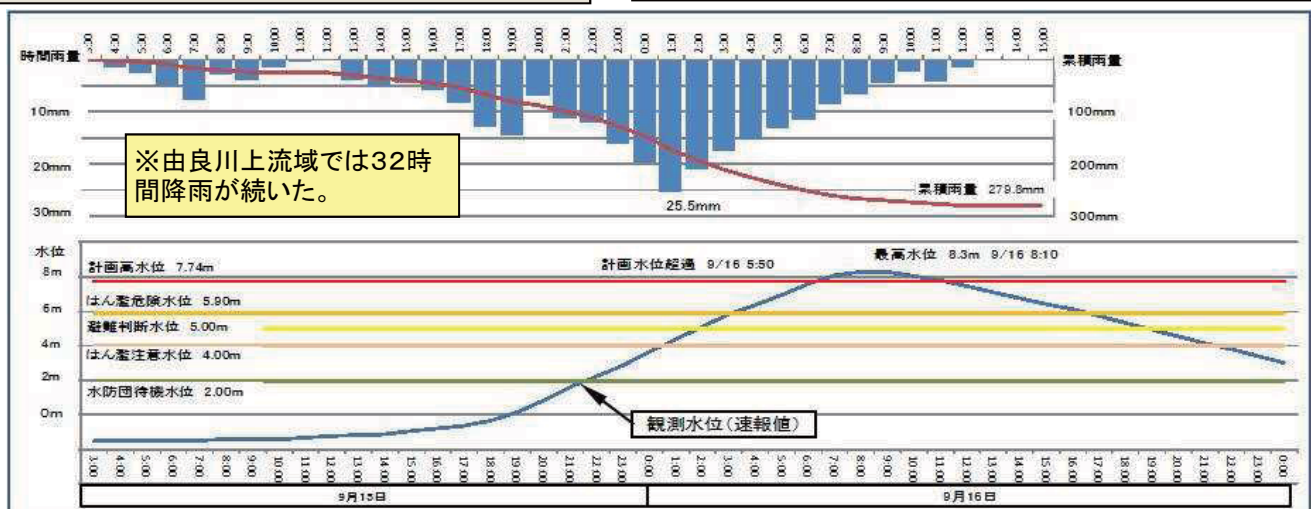


気象庁HPより引用

累積雨量(9月15日3時～9月16日15時)



前線や台風に伴う雨雲の影響により雨域が居座り(左図参照)、長時間にわたり強い降雨が続いた。(上図参照)



由良川上流域平均雨量及び福知山観測所水位(速報値)

2.直轄河川の主な被害状況

- 台風18号による豪雨により近畿の広い範囲で被害が発生。
- 管内河川の主な被害状況は下記のとおり。

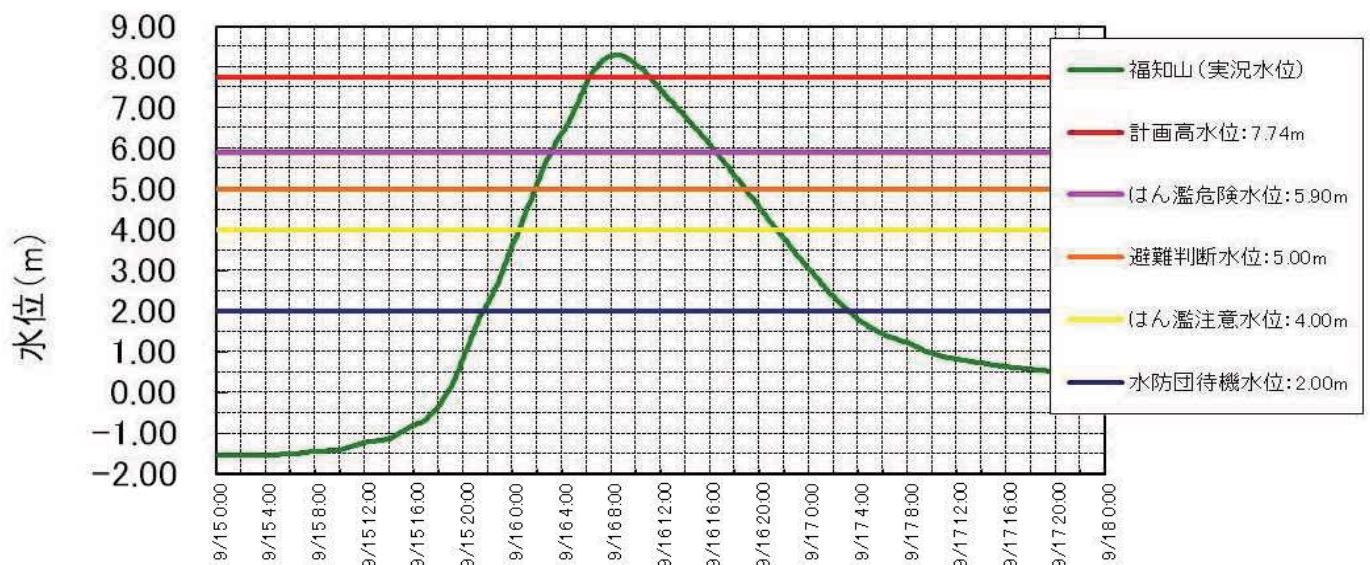


直轄河川の由良川、桂川、宇治川、北川、加古川、大和川、相野谷川においては、沿川の住民約43万人に対し避難指示、約76万人に対し避難勧告が発令された。

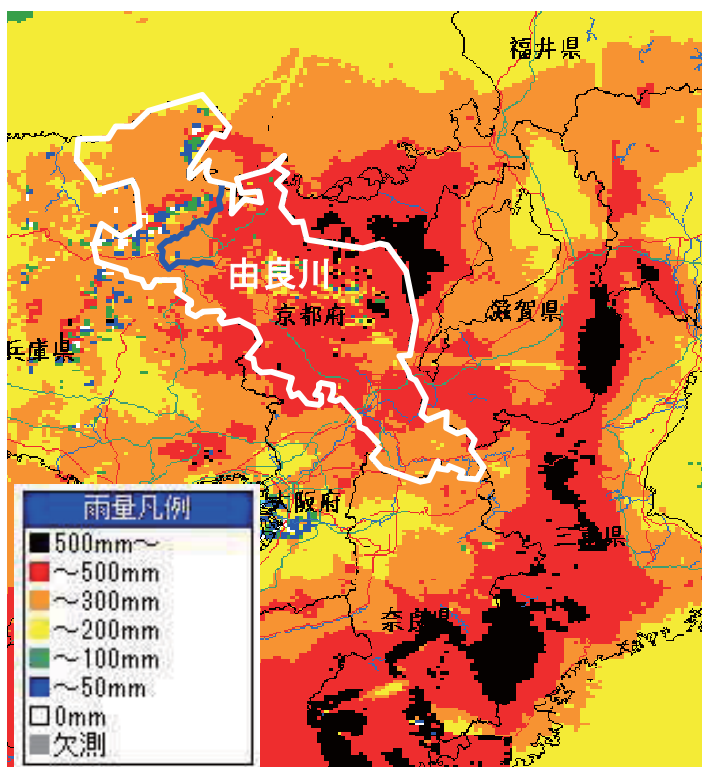
3.由良川水系由良川の被害状況

平成25年9月15日から16日未明にかけて台風18号の影響により近畿地方を中心に広い範囲で長時間にわたり激しい降雨となり、由良川では流域全域にわたって大規模な浸水被害が発生した。

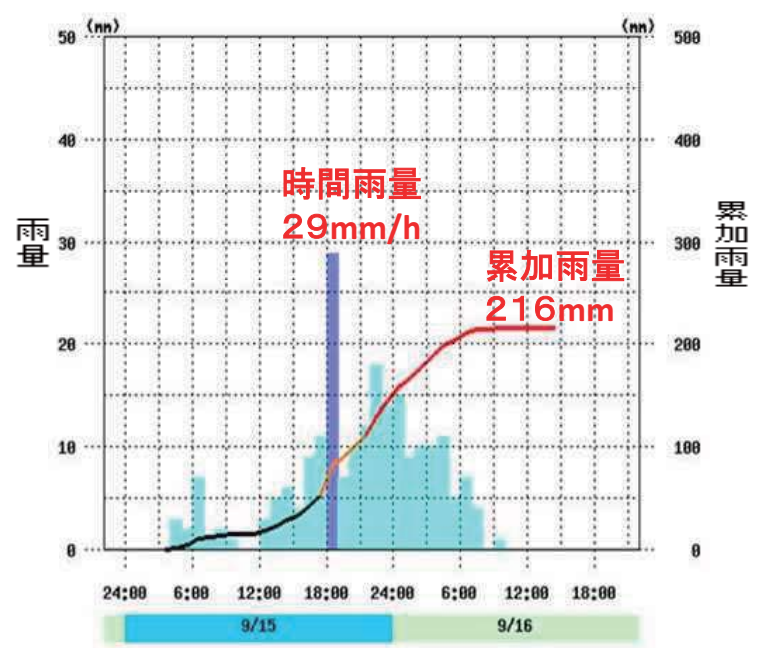
由良川福知山観測所の水位データ



累加雨量データ(9月15日～16日)



由良川福知山観測所の雨量データ



※本資料の数値等は速報値であるため今後の詳細調査の結果により数値等が変更となることもある。

3.由良川水系由良川の被害状況

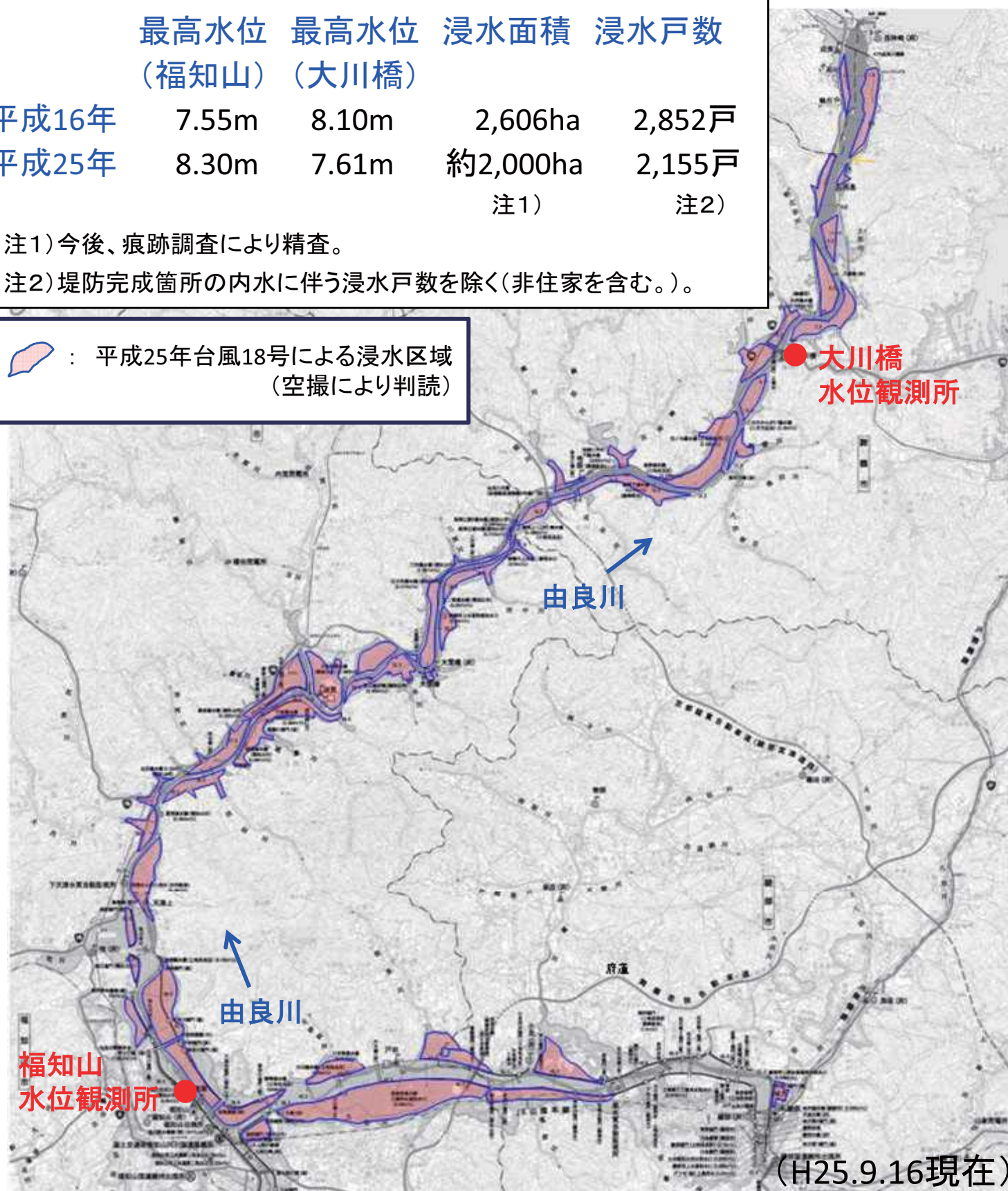
由良川浸水状況

	最高水位 (福知山)	最高水位 (大川橋)	浸水面積	浸水戸数
平成16年	7.55m	8.10m	2,606ha	2,852戸
平成25年	8.30m	7.61m	約2,000ha 注1)	2,155戸 注2)

注1) 今後、痕跡調査により精査。

注2) 堤防完成箇所の内水に伴う浸水戸数を除く(非住家を含む。)

 : 平成25年台風18号による浸水区域
(空撮により判読)

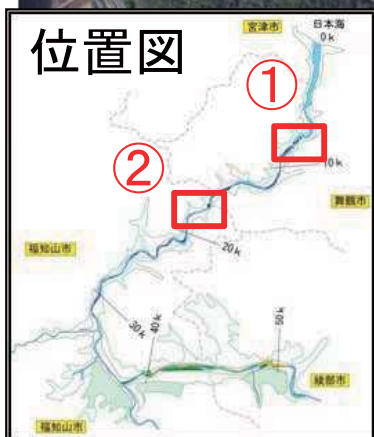


3.由良川水系由良川の被害状況

① 舞鶴市上東地先



位置図



② 福知山市大江町二箇地先



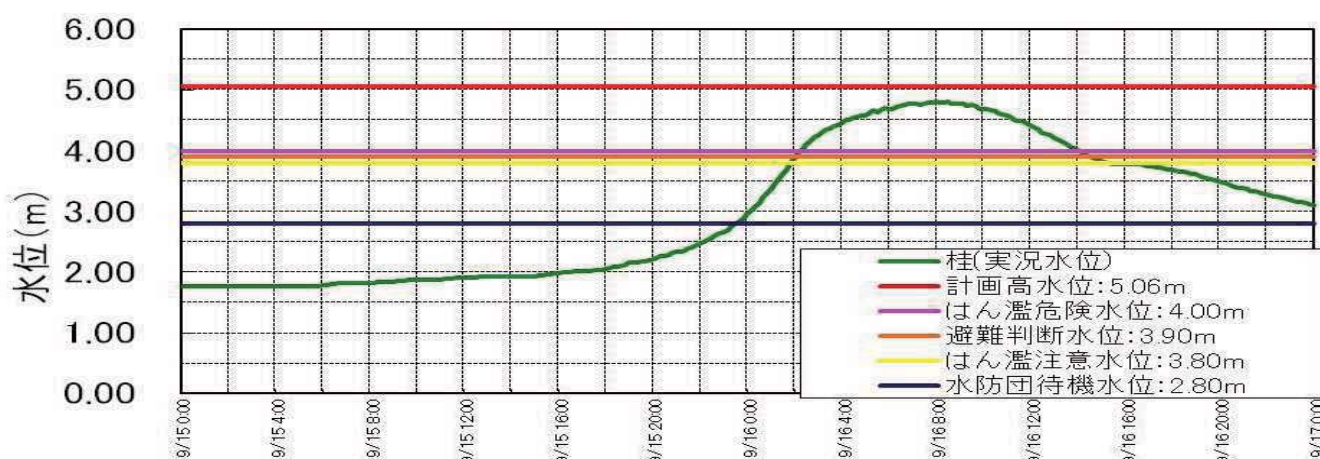
3.由良川水系由良川の被害状況



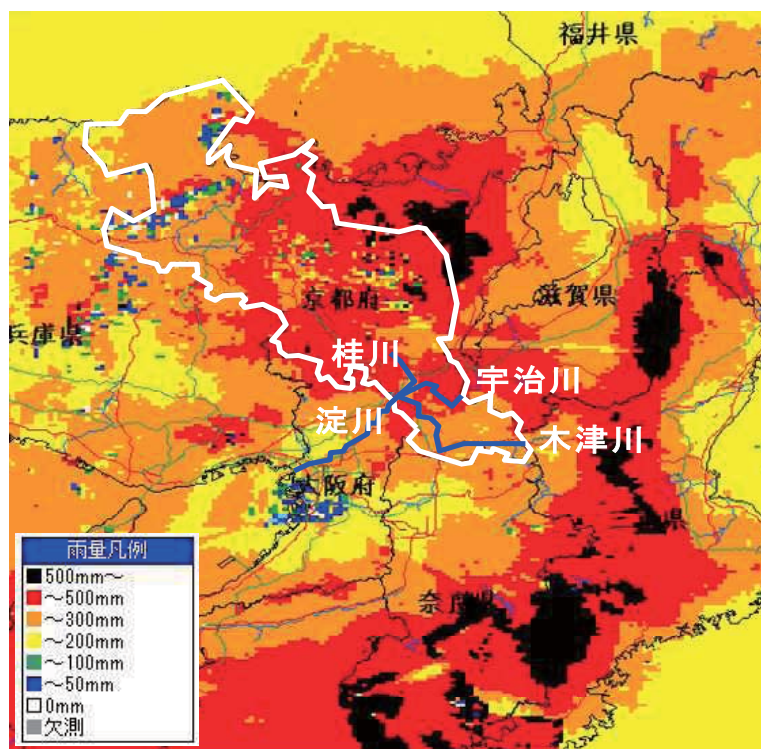
4.淀川水系桂川の被害状況

・平成25年9月15日から16日未明にかけて台風18号の影響により近畿地方を中心に広い範囲で長時間にわたり激しい降雨となり、桂川は午前10時すぎ、京都市伏見区の羽束師橋と渡月橋付近の堤防からの越水が確認された。

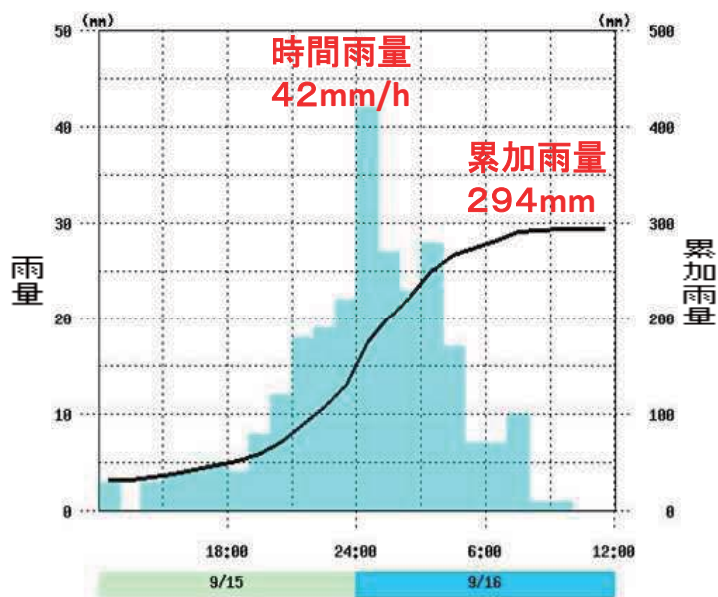
桂川桂観測所の水位データ



累計雨量データ(9月14日～16日)



桂川桂観測所の雨量データ



※本資料の数値等は速報値であるため今後の詳細調査の結果により変更となることがある。

4.淀川水系桂川の被害状況 嵐山周辺

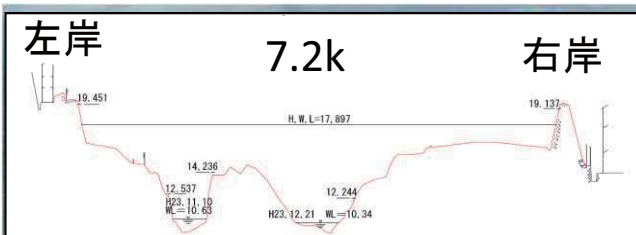
淀川水系桂川嵐山地区で平成16年台風23号洪水を超える75戸(速報値)の浸水被害が発生。ピーク時には渡月橋の橋面にも洪水が乗り越えた周辺の旅館等にも甚大な被害。



※本資料の数値等は速報値であるため今後の詳細調査の結果により変更となることがある。

4. 淀川水系桂川の被害状況 京都府伏見区久我^{こが}

桂川右岸7.2k(久我橋下流)で9月16日7時過ぎに堤防から越水が始まり、9時30分頃には400mの区間で越水。



※本資料の数値等は速報値であるため今後の詳細調査の結果により変更となることがある。

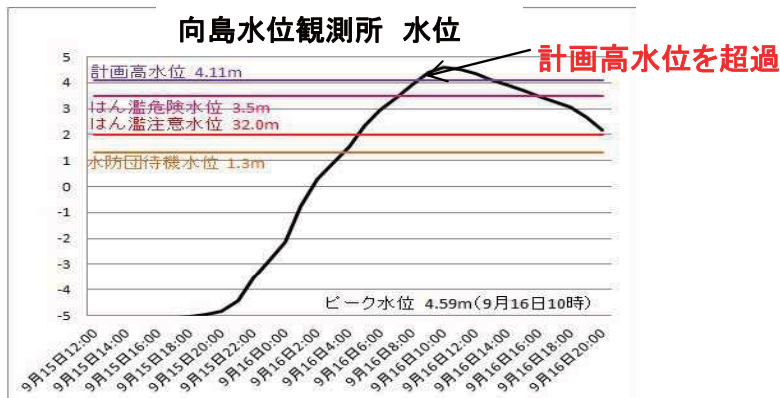
4. 淀川水系桂川の被害状況 京都府伏見区^{こが}久我

桂川・小畑川水防事務組合、自衛隊が懸命な水防活動を行うとともに、上流の日吉ダムでは、異常洪水時防災操作を行って、下流の水位を低下。10時20分には越水が止まり、堤防の決壊という最悪の事態を免れることができた。



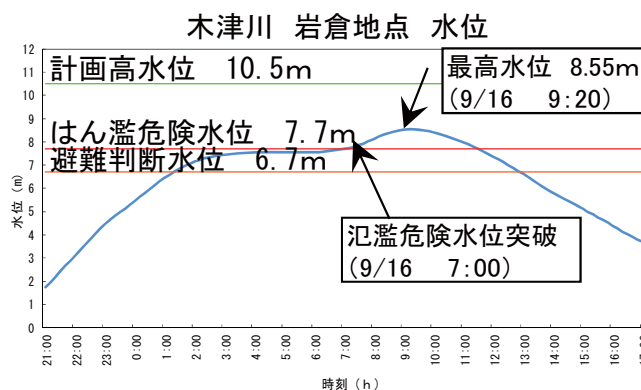
4. 淀川水系宇治川の出水状況

宇治川では、宇治川向島地点において計画高水位を超過する洪水となり、非常に危険な状態となった。



4. 淀川水系木津川の出水の状況

木津川でも、岩倉地点でははん濫危険水位を超過する洪水となり、伊賀市域の内水域で浸水被害が生じた。



5. 他の直轄河川の被害状況

由良川水系、淀川水系以外においても広い範囲で被害が発生

北川水系



加古川水系



大和川水系



6. 紀伊山地の状況①

あかだに
赤谷

奈良県五條市

- ・仮排水路末端部や現場内工事用道路、仮設ヤード、監視設備などが被災。
- ・下流の県道が川原樋川の増水により路肩決壊し、車両の通行が不可能になった。



位置図



しみず うい
清水(宇井) 奈良県五條市

- ・仮設護岸の約170mが被災。
- ・斜面には大きな変状はなし。



6. 紀伊山地の状況②

くりだい

栗平 奈良県十津川村

- ・工事用道路、暗渠排水管（5m程度）、水位計設備などが被災。
- ・推進工法で施工した暗渠排水管に設置後、初通水。閉塞部の侵食を最小限に抑えた。



位置図



ながとの

長殿 奈良県十津川村

- ・十津川河床部の工事用道路、雨量計設備などが被災。



7. 府県の主な被害状況①

府県の河川等においても近畿地方の広範囲にわたり大きな被害があった。

福井県

せいはいま

勢浜海岸 流木漂着状況



土石流発生状況



北川水系野木川 堤防決壊



京都府

神崎海岸 流木漂着状況

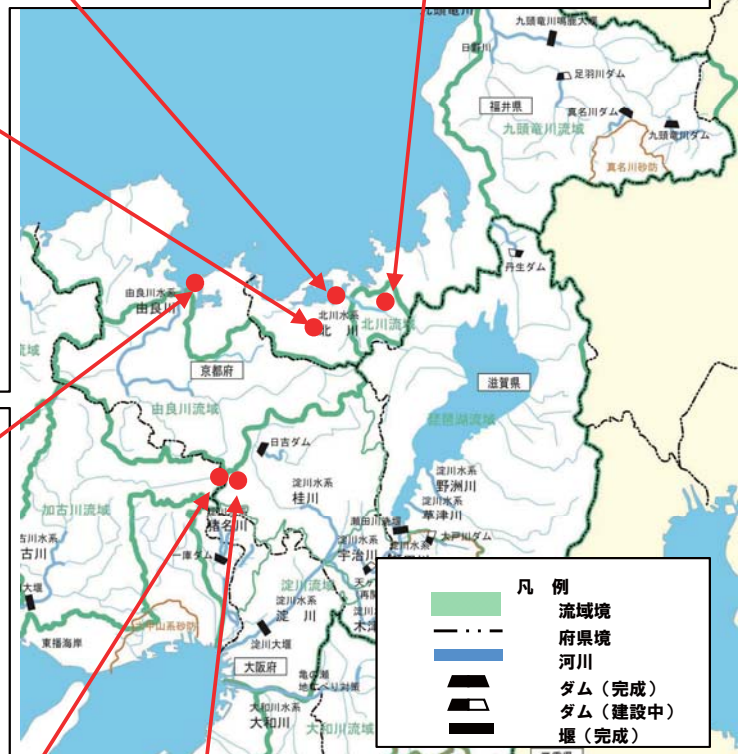


ほんめ

淀川水系本梅川 堤防決壊



淀川水系園部川 越水状況



7. 府県の主な被害状況②

滋賀県

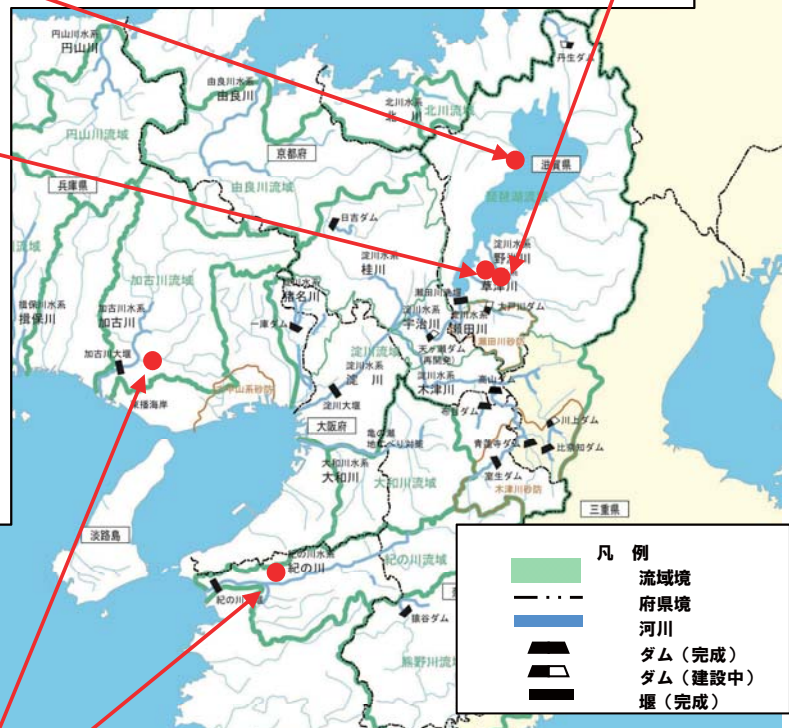
淀川水系鴨川 堤防決壊



斜面崩壊状況



こんぜ
淀川水系金勝川 堤防決壊



兵庫県

まんしょうじ
加古川水系万勝寺川
堤防洗掘



和歌山県

紀の川水系藤谷川
越水状況



8. 管内のダムの効果状況

- 淀川水系にある国土交通省及び(独)水資源機構が管理する7ダムでは洪水調節(防災操作)を実施した。これにより、ダム下流の支川(宇治川・木津川・桂川)の水位低下、洪水被害軽減を図るとともに、堤防を越流した桂川下流の水位低下に努めた。
- 特に天ヶ瀬ダム、日吉ダムでは、流入量が非常に大きかったことから、ダムの容量をギリギリまで活用して洪水を貯留する操作を行い、下流への流量を低減した。これにより京都市街地に甚大な氾濫被害が生じることを防いだものと考えている。

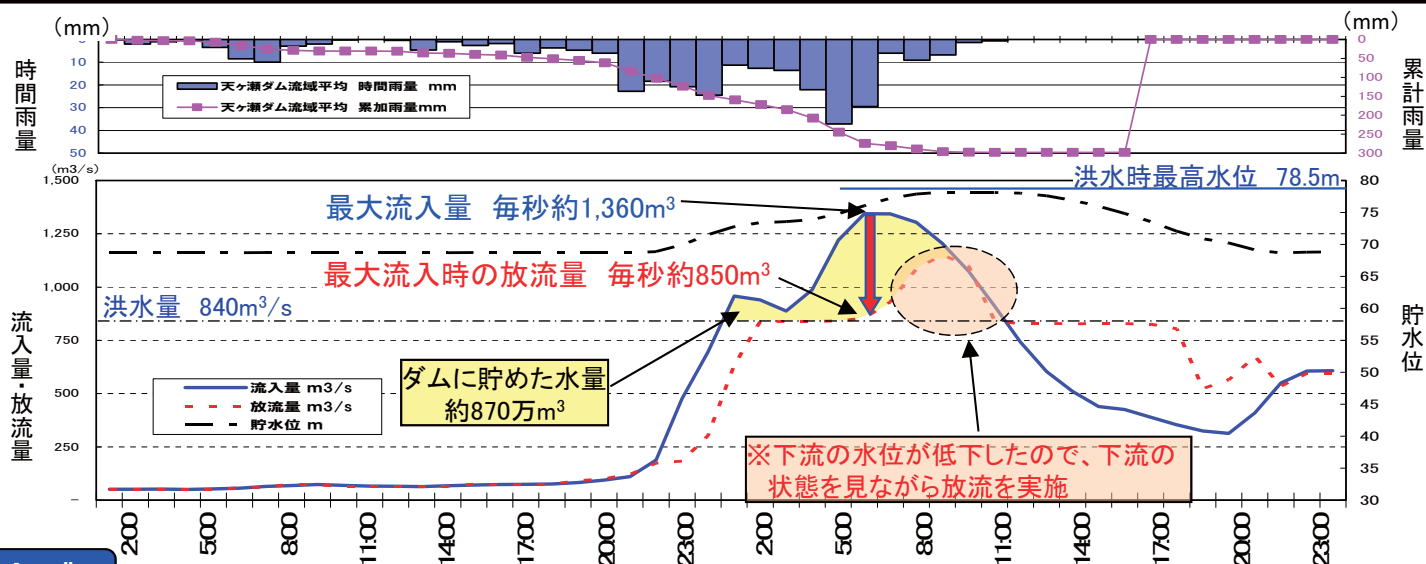


3ダムによる統合操作

8. 管内のダムの効果状況(天ヶ瀬ダム・日吉ダム)

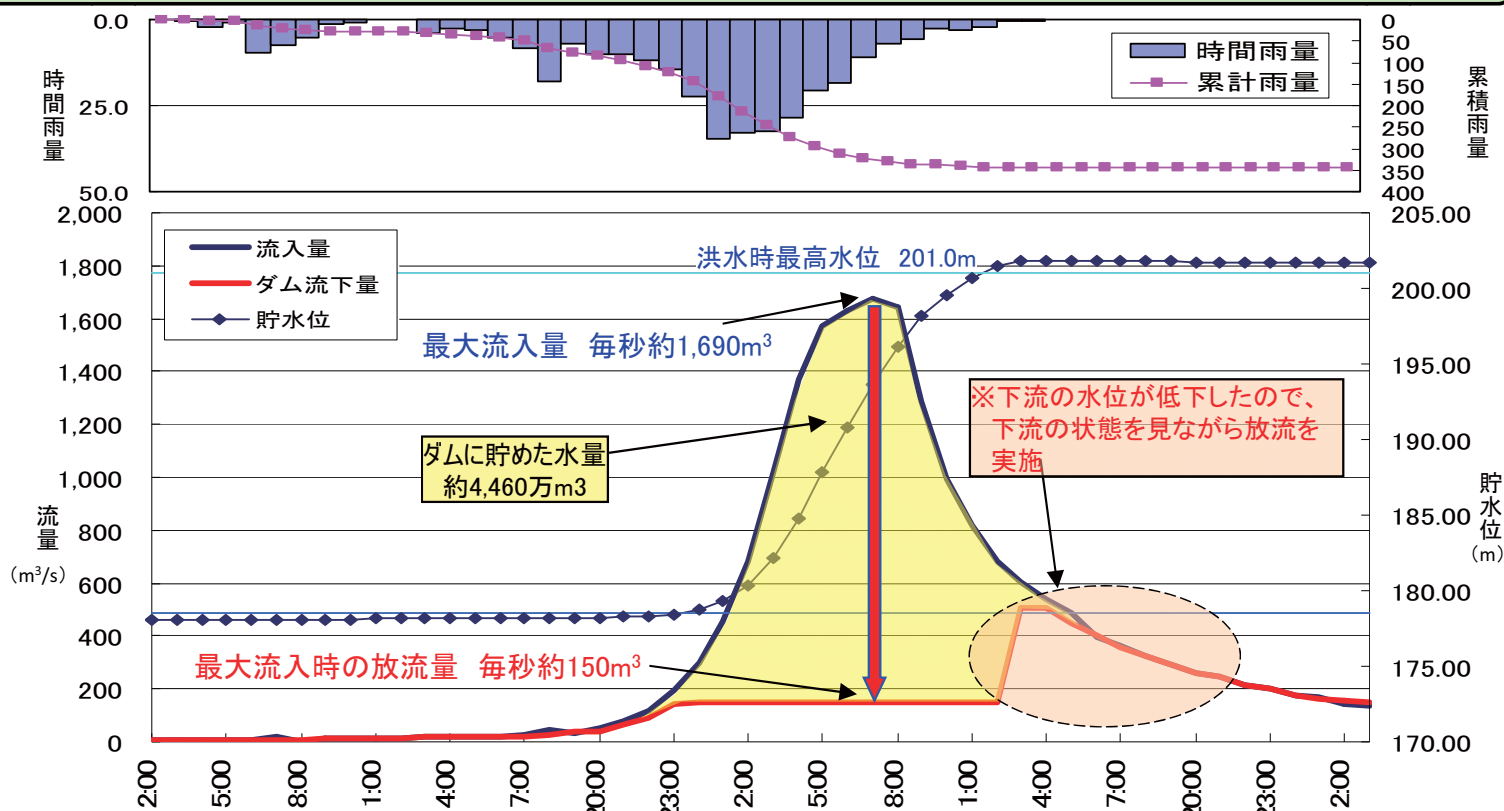
天ヶ瀬ダム

- 台風18号により天ヶ瀬ダムの流域では、1時間雨量で流域最大37mm、降り始めからの総雨量は300mmを観測した。この降雨により天ヶ瀬ダムへの最大流入量は毎秒約1,360立方メートルに達した。
- 天ヶ瀬ダムでは、流域全体の安全を確保する観点から操作を行うことで約870万立方メートル(京セラドーム大阪約7杯分)の水をダムに貯留し下流の河川へ流す水量を最大で毎秒約500立方メートル(約4割)低減した。



日吉ダム

- 台風18号により日吉ダムの流域では、1時間雨量で流域最大34mm、降り始めからの総雨量は345mmを観測した。この降雨により日吉ダムへの最大流入量は毎秒約1,690立方メートルに達し、日吉ダム管理開始(平成10年)以降最大の流入量を記録した。
- 日吉ダムでは、流域全体の安全を確保する観点から操作を行うことで約4,460万立方メートル(京セラドーム大阪約37杯分)の水をダムに貯留し下流の桂川へ流す水量を最大で毎秒約1,550立方メートル(約9割)低減した。

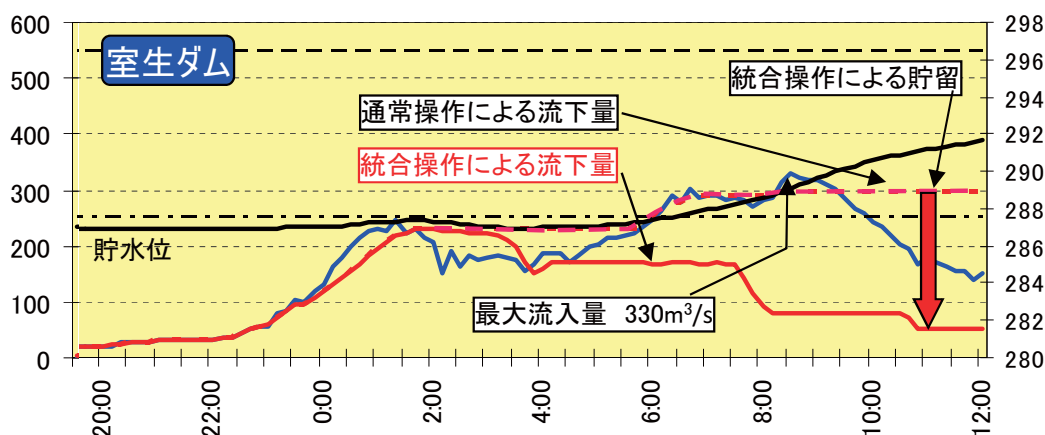
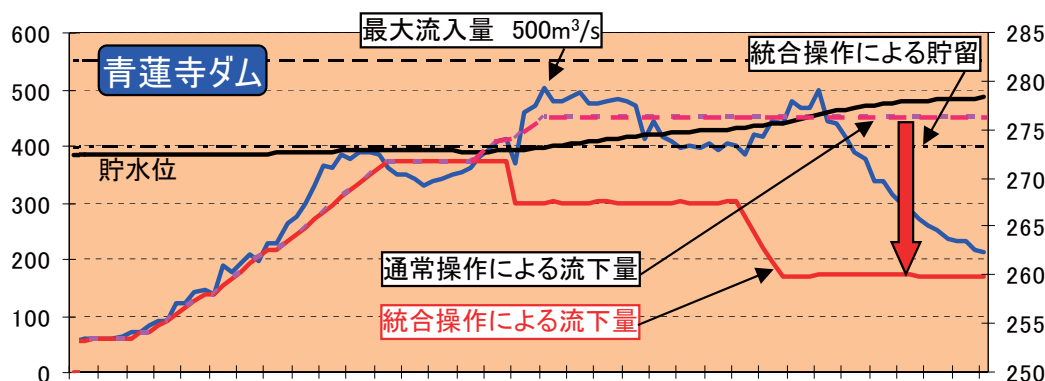
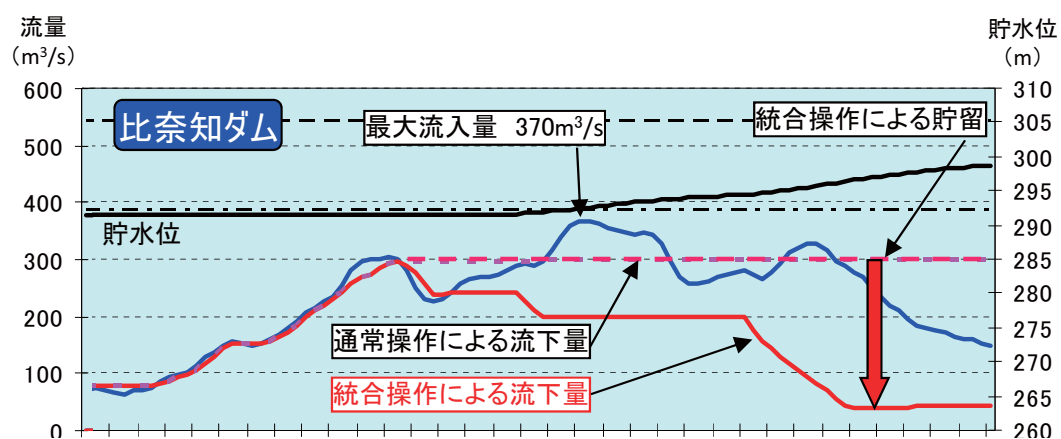


8. 管内のダムの効果状況(ダム統合操作)

- 台風18号により名張川3ダムの流域では、1時間雨量で流域最大33mm、降り始めからの総雨量は青蓮寺ダムで368mm、室生ダムで226mm、比奈知ダムで440mmを観測した。
- この降雨により、名張川の浸水被害の恐れがあったこと、淀川本川下流への水量を低減させる必要があったため、3ダムでの統合操作※を行った。
- この結果、ダム下流の名張地点では名張川の水位を約0.7m低下させ、名張地点でのはん濫が生じる危険な水位を下回ることができたと考えている。

※統合操作

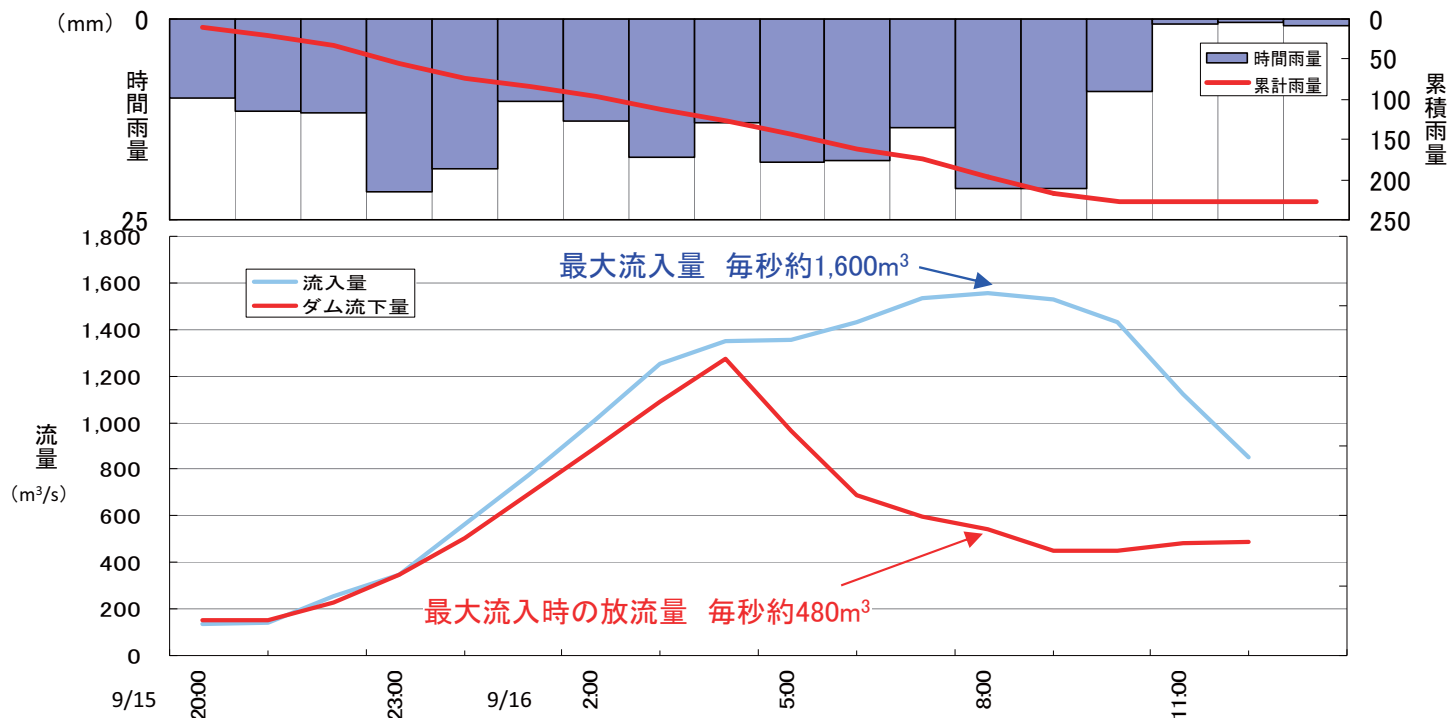
3ダムの空き容量を勘案し、ダムからの放流量を減らすことにより、名張川の水位低下を図る。



8. 管内のダムの効果状況(高山ダム・布目ダム)

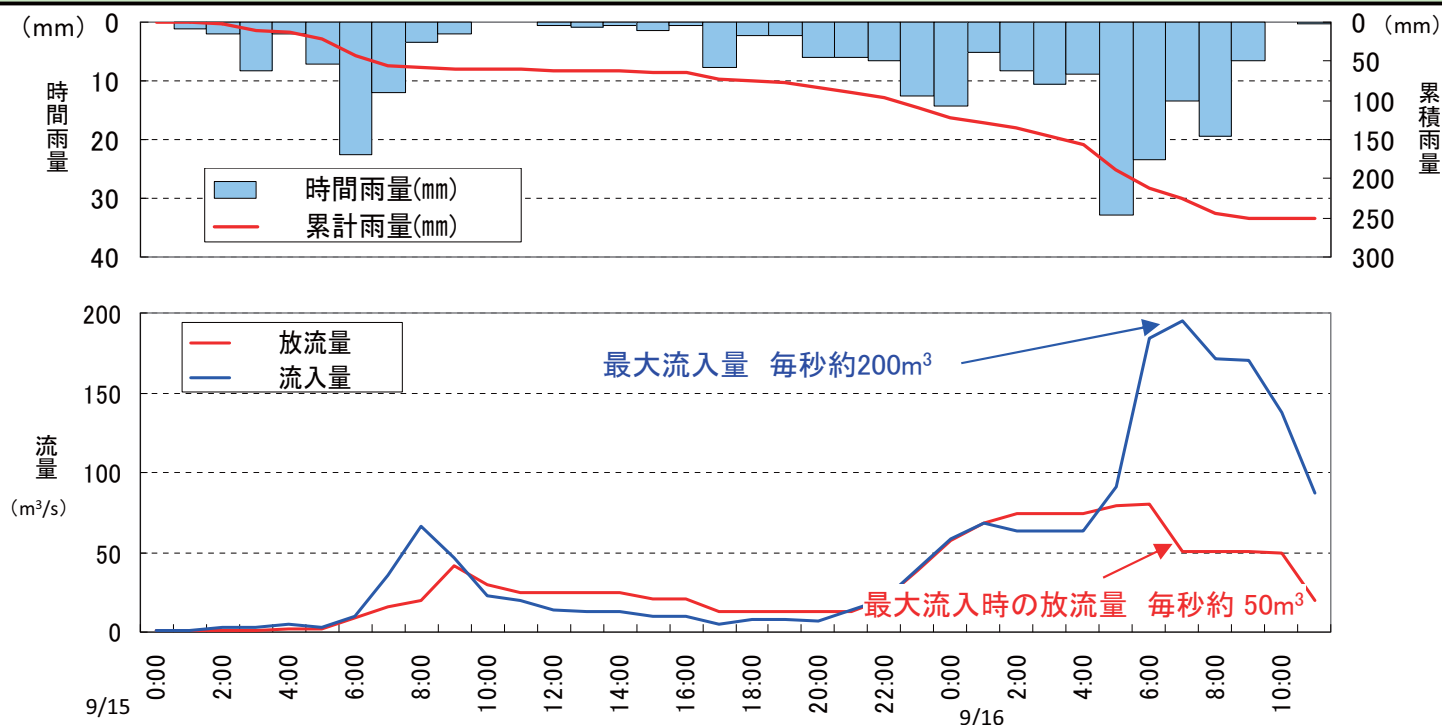
高山ダム

- 台風18号により高山ダムの流域では、1時間雨量で流域最大22mm、降り始めからの総雨量は290mmを観測しました。この降雨により高山ダムへの最大流入量は毎秒約1,600立方メートルに達した。
- 今回の防災操作では、下流の木津川へ流す水量を最大で毎秒約1,120立方メートル(約7割)低減した。



布目ダム

- 台風18号により布目ダムの流域では、1時間雨量で流域最大33mm、降り始めからの総雨量は252mmを観測した。この降雨により布目ダムへの最大流入量は管理開始(平成4年)以来最大となる毎秒約200立方メートルに達した。
- 今回の防災操作では、淀川ダム統合管理事務所と連携し下流の河川へ流す水量を最大で毎秒約150立方メートル(約7割)低減した。



桂川(京都府伏見区久世橋上空)※平成25年9月16日11時頃撮影)



平成25年9月20日作成

国土交通省 近畿地方整備局 河川部

住所 〒540-8586 大阪府中央区大手前1丁目5-44

問い合わせ (06)6945-6355(代) 河川計画課内